

熊本地区本部第15回定期総会

会員拡大「40名」の達成にむけて

福祉の増進と会員相互間の親ほく強化を

JR九州労組退職者連絡会「熊本地区本部第15回定期総会」を昨年の12月14日(火)13時30分から熊本市西区の九州労働金庫熊本駅前支店にて平日にもかかわらず総勢46名が参加して開かれました。

総会は久我副会長の開会挨拶で始まり、議長に森岡雅史さん(元・熊本工務センター)を選出し、熊本地区本部の山下会長は「①この2年間はコロナ禍で活動が制限され、特に退職者連絡会の所期の目的である親ほく会等が出来ず残念でした。②総選挙では熊本は与党の圧勝でした。来夏の参議院選挙では一人区の選挙区での勝利が必須です。③組織拡大については、この2年間で51名の拡大を行ってきま



元気かいた

第19号

(発行・編集)
JR九州労組
退職者連絡会

熊本地区本部

(発行責任者)
山下 和美
(編集責任者)
編集グループ

した。今後の拡大についての意見を求めます。④交運共済が2023年7月から「こくみん共済coop」に契約移転します。共済の更新手続きが煩雑になりますが、完遂しなければならぬ。課題は多いが是非本日の総会で多くのことを議論していただきたい」との挨拶に続いて、来賓とし

て熊本県退職者連合の岡崎和喜会長、JR九州労組退職者連絡会の高田義広会長、交運共済九州事業本部の田頭正憲本部長、JR九州労組熊本地区本部の濱田委員長、宮崎人吉市議のそれぞれから激励と連帯の挨拶と(松尾大牟田市議・山部大津町議・廣瀬菊陽町議)からメッセージが届きました。

議事は「2019～20年度の活動経過報告及び決算報告、会計監査報告」「2021～22年度の活動方針(案)、予算(案)が提案され、「組織拡大420名」や社会保障

制度を安定させ、安心して老年期を迎えることができる国づくりや交運共済では任意共済の継続・増口、また、2023年7月以降に「こくみん共済coop」との統合についてなどを満場一致で決議し、2021～22年度役員が承認されました。

結びに、総会終了後の恒例の懇親会はコロナ禍における感染拡大防止のために開催することが出来ませんでした。次回はコロナ感染状況を見て「酒を酌み交わし語り合う場」を設けたいと思います。(丁)

「コロナ感染症が一日も早く収束し、安心安全な生活を取り戻したいものです。コロナ禍、私たち退職者連絡会は「会員相互」の「親睦と交流」を図ることが出来ませんでした。本年は、総会で明らかにしていますように「交運共済学習会」「ゴルフ大会」「グールメ懇親会」など、コロナ感染症の感染拡大状況をみながら実施する考えです。すでに6月2日には、3年ぶり「親善ゴル

フ大会」を37名参加し開催することが出来ました。参加された人も大声をださずプレーしたり、感染防止をしつつ楽しく

頂き、推薦候補者の必勝に向け最後までご協力お願いします。又、九州各県選挙区、比例区の推薦候補者も別紙で同封し

交運共済の各種任意共済等が「こくみん共済coop」(全労済)に2023年7月1日より契約移転が決定しました。各種共済の移転手続き等が明らかにになり次第、契約移転に関する説明会を開催し、加入者の皆さんが、これからの生活設計に不安のない様にお手伝いします。(交運共済からこくみん共済coopの契約移転についての資料を同封していますので参照下さい。)

「会員相互」の「親ほく交流」を深める

会長 山下 和美

交流が出来ました。これからの行事も会員相互の交流が深められるよう取り組んでいきます。

現在、参議院選挙で皆さんのご支援を

【推薦候補者】
選挙区 出口慎太郎
比例区 川合 孝典

交通共済はこくみん共済へ

交通共済は、これまで生協の基本である「助け合い」の精神にもとづき、職域における組合員の相互扶助と労働運動に努めてきました。が、保険市場の競争激化や法規制の強化、JR各社の事業構造や組合員の構成年齢の変化に伴い、交通

共済における事業規模は縮小傾向にあります。こうした厳しい環境の中においても、事業規模の拡大や経費削減など将来にわたって交通共済として安定した運営をしていくための経営努力を行ってまいりましたが、将来的に契約の減少が避けられないことなど中長期的に交通共済生協単独での共済制度の安定的な維持・運営が難しいとの判断をするに至りました。

そのため、全国の勤労者を中心に働く仲間が結集している「こくみん共済coop」〈全労済〉と連携していくことが組合員の皆さまにとっての最善策であると判断し、2023年7月1日から契約移転することになりました。会員の皆さまに現在ご加入頂いております交通共済の契約につきましては、「こくみん共済」coop〈全労済〉の共済制度をご利用されるに

あたり、「契約の解約」と併せて「新規加入手続き」が必要となります。今後、ご利用いただける共済制度や掛金および各種手続き方法など契約移転に際しての具体的な内容につきましては、詳細が決まり次第改めてご案内致します。尚、「学習会」等を8月以降に開催予定をしていますので、ご参加をお待ちしています。

参議院議員選挙が間近となり、ロシアのウクライナ侵攻が続く中、憲法改正の議論が活発となっている。「憲法9条改正」が野党の日本維新の会、国民民主党からも発出。戦争反対の意見ではなく軍備増強・防衛予算増額の意見である。国民は戦争反対だ。福祉・教育・介護予算の増額を望んでいる。改憲派のリーダーたちは軍備増強で儲けようと考えているのか？企んでいるのか？野党統一候補の勝利で政治の流れを変えなければならぬ。

第26回参議院議員は6月15日に通常国会が閉幕し、政府は臨時閣議で、6月22日公示、7月10日に投票を決定しました。一方、2年以上も続くコロナ禍で、特に業績が著しく落ち込んだJR含む交通運輸や旅行産業などは、危機的な状況が続いています。このような中で、JR九州労組は、今回の参議院議員選挙

推薦する候補者全員の必勝に向けて

において、政策課題の実現に協働する候補者の当選に向けて総力を挙げて取り組むことを決定しています。(推薦候補：別添) つきましては、退職者連絡会地区本部としても、「年金・医療・介護」など、私たちが安心して暮らせるための政策課題実現を果たすために、JR九州労組が推薦する候補者全員の必勝に向け、現退一致で取り組むこととします。ので、会員・ご家族のご協力をお願いします。(S)

2021~2022年度の幹事会役員

今後共よろしくお願いします。

- 〈会長〉
 - ◇山下 和美 (元おれんじ鉄道)
 - 〈副会長〉
 - ◇久我 正大 (元熊本電力区)
 - ◇森田 俊彦 (元熊本車掌センター)
 - ◇鋤田 勝重 (元ジョイロード八代)
 - ◇田中 伸一 (元熊本乗務センター)
 - ◇森岡 登 (元人吉鉄道事業部)
 - ◇坂本 和哉 (元熊本鉄道事業部)
 - 〈事務局長〉
 - ◇吉永 徹男 (元八代駅)
 - 〈幹事〉
 - ◇末長 孝 (元八代工務センター)
 - ◇長田 英二 (元熊本乗務センター)
 - ◇吉本 初生 (元久留米鉄道事業部)
 - ◇桃北 勝美 (熊本地本執行副委員長)
 - 〈会計監査〉
 - ◇藤崎 寛昭 (元熊本支社総務企画課)
 - 〈退任〉
 - ◇江崎雄二 副会長
 - ◇岸本昭則 副会長
 - ◇佐藤文昭 会計監査
- *この度退任されました。お疲れ様でした。

訃報通知

*前号18号の新規加入者の紹介コーナーで誤り 竹田 一英 (熊本駅) 正 武田 一英様 (熊本支社 総務企画課) でした。ここに訂正します。

会員の杉山 広美様が2月3日に逝去されましたので謹んで、お知らせ致します。

編集後記

参議院議員選挙が間近となり、ロシアのウクライナ侵攻が続く中、憲法改正の議論が活発となっている。「憲法9条改正」が野党の日本維新の会、国民民主党からも発出。戦争反対の意見ではなく軍備増強・防衛予算増額の意見である。国民は戦争反対だ。福祉・教育・介護予算の増額を望んでいる。改憲派のリーダーたちは軍備増強で儲けようと考えているのか？企んでいるのか？野党統一候補の勝利で政治の流れを変えなければならぬ。

2023年7月1日から契約移転します。